



水土里情報を活用した空き家情報管理について紹介します

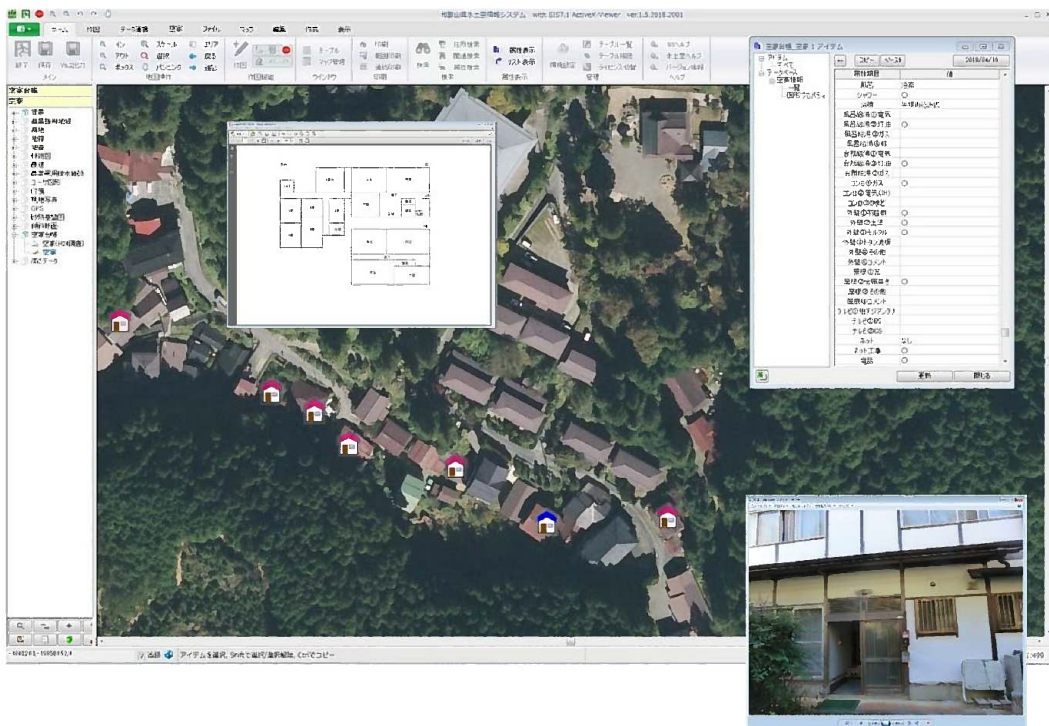
(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネット和歌山

取組概要

内容：水土里情報システムを活用して、町内に散在する空家の位置データを入力し属性データには所有者等の家屋状況、間取り図や外観等の写真ファイルを格納し、市町村内の空き家管理に利活用。

経緯：近年、適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。水土里情報システムのユーザーである県内の複数の市町村が、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全のため、従来の紙媒体での台帳管理に代えて、本システムを用いた空き家情報管理を行いたいと当県土連に申し出があった。



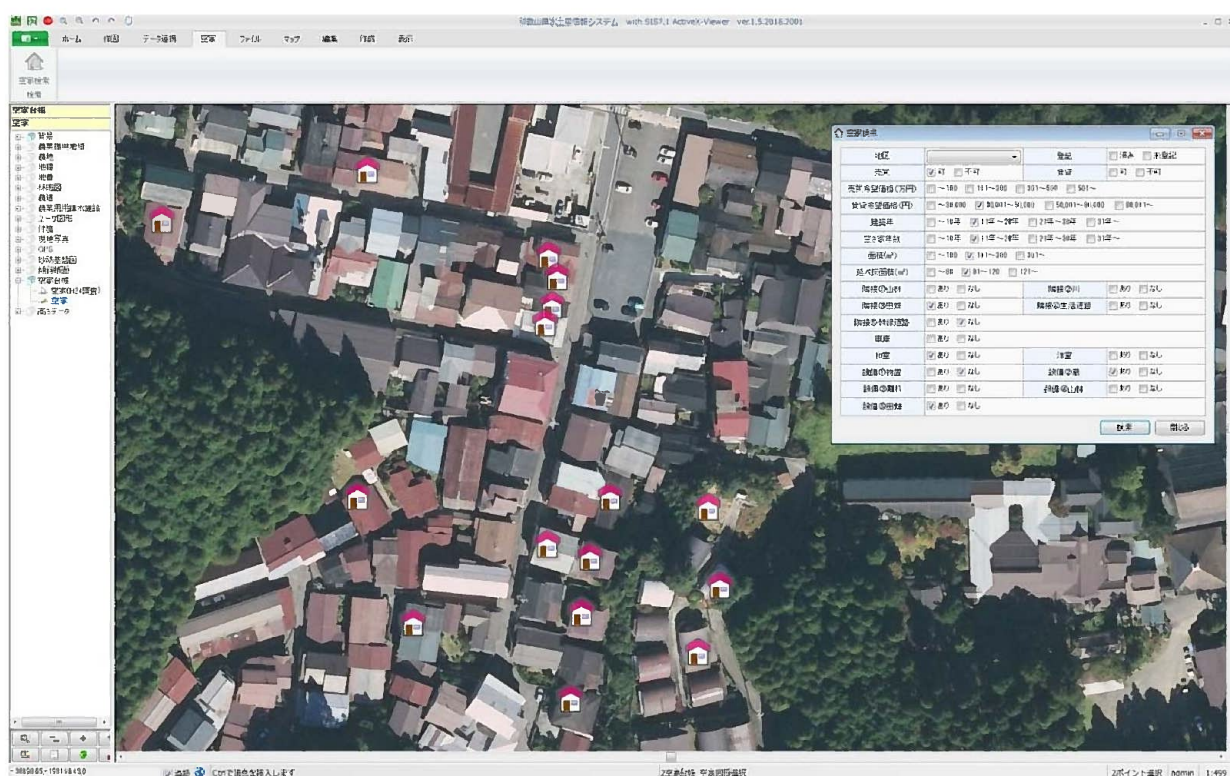
注) 図版から、空き家を特定されることを防ぐため、申し出のあった市町村の名前は非公表とさせていただきます。

期待される効果と今後の活用予定

土連が所有する水土里情報システムに格納されている農地筆（遊休農地等）の位置情報を空家との連携させることにより、農地付き貸家の情報提供が可能となる等、農業振興や農村定住対策への利活用が見込めることから、既存の水土里情報システムに空家検索機能を開発付加した。

この機能により、市町村職員が賃貸希望者の賃貸条件を入力することで、入居希望者のニーズにあった空家を迅速に検索でき、空家の有効利用が出来るようになった。

今後、他の市町村に対してもこの取り組みを広げて、水土里情報システムの積極的な利用を推進したい。



GISシステムのバージョン情報

GISエンジン : SIS7.1SR3

GISアプリ : 水土里Maps7.1 Ver1.5

■お問い合わせ先

和歌山県土地改良事業団体連合会 技術情報課(榎本、柏木) 073-432-2567(代表)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(愛宕、沖) 03-6744-2201(直通)